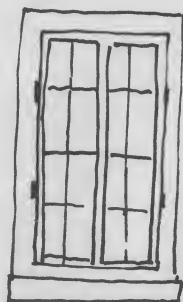
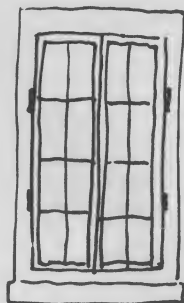
M・シンボー

?

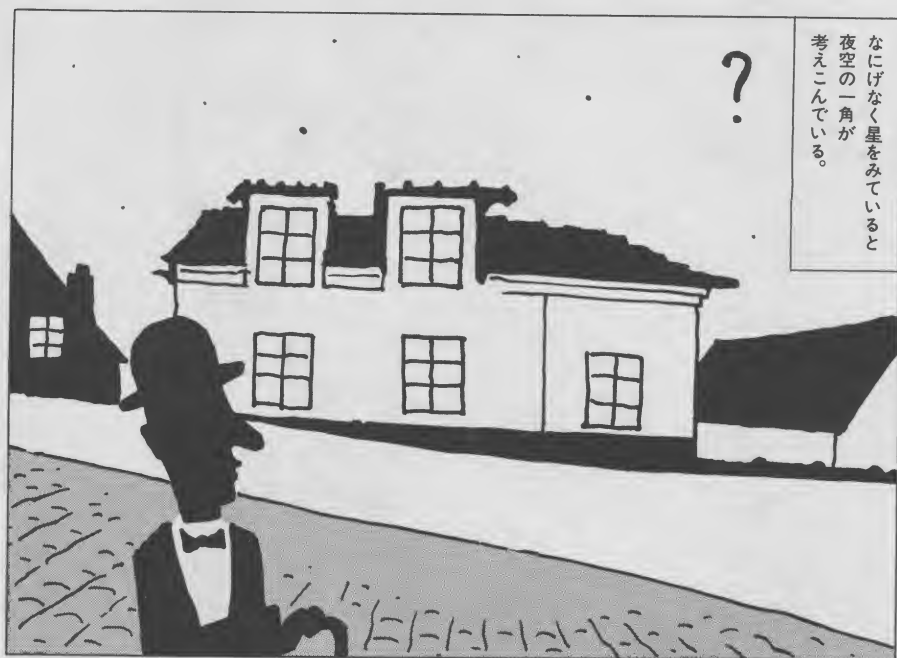
?とゆーのは不思議である。
?自体が不思議がっている。

この建物は昭和四十年のある日
上野～浅草間のトデンの窓に
一瞬間とどまった事実である。
一瞥「これはナゾの家である」と僕は結論したが、
それは正面にナゾの印が大書されてあるからだった。
何の会社なのか、社員たちがどういう業務に
たずさわっているのか、一切ナゾである。
後日ナゾをつきとめるべく再訪してみると、
既に跡形もなく消滅していた。
ナゾは深まるばかりである。

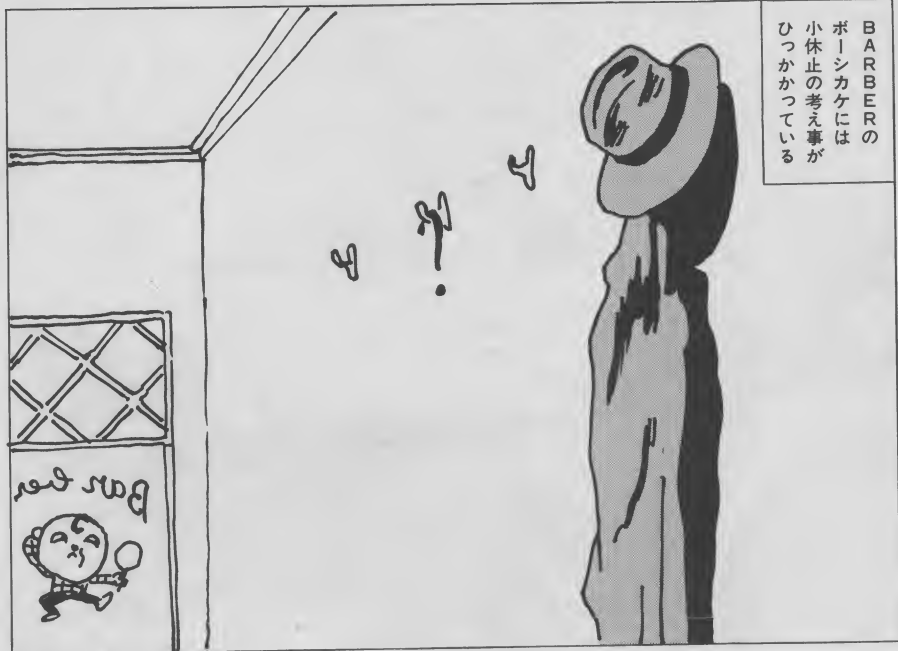
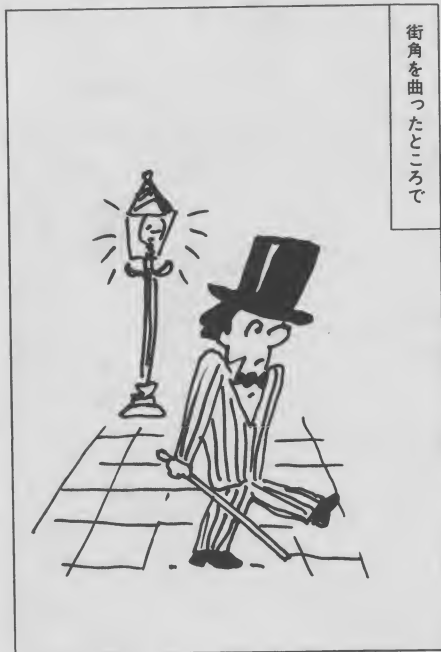
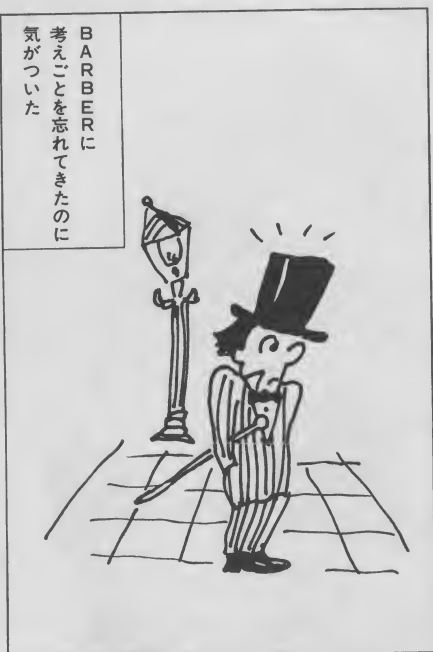
?

CO.,LTD

本日は快便である。
固さも、ボリュームも
理想的なので
問題はこの形状である

これは果して、
吉兆なのか凶兆なのか
本日は朝からナゾである。

妙に車が渋滞する
と思えばこれだ
当局はゲージツ家の
しわざとみて捜査している。

なにげなく星をみていると
夜空の一角が
考えこんでいる。
?

天文通に訊いてみれば
あれはプレヤデス星団
というものなのだそうだ。

BARBERのボーシカケには小休止の考え事がひっかかっている
Barber

街角を曲ったところで

BARBERに考えごとを忘れてきたのに気がついた

急いでひき返して
尋ねてみると、
?

それはマスターの頭上に
浮遊していた。
?

ところで
終電車で
考えごとをするのは
考えものだ
?
ウタタネの間に
「疑問点の蒐集家」
が出没している
?
The END